



## 本校の使命

本校は国立大学法人に基づいて大分大学教育学部に設置された学校であり、次の使命を持つ。

- 1 知的に障がいのある児童生徒を対象に教育を行い、個々の能力を伸ばし、自立への意欲を育て社会生活の適応を高める。
- 2 大学教員や学生の教育研究に協力するとともに、教育実習の指導にあたる。
- 3 特別支援教育について、理論的、実証的研究を推進するとともに、地域の障がいのある幼児児童生徒やその保護者及び幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校への支援の充実に努める。

## 学校教育目標

豊かに人や社会と交わり、自ら進んで取り組み、自己表現できる子どもの育成

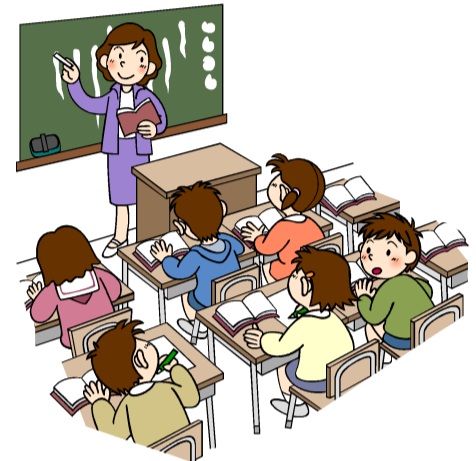
### めざす子ども像



明るく  
やさしい子

自分から  
進んで取り組み  
自己表現できる子

人や社会と  
豊かに交わる子



## 本年度の重点目標

### 1. 子どもの活動参加への意欲を高める授業づくりの更なる深化

(達成指標)

- 保護者及び学校評議員への授業に関する評価アンケートで3以上の回答が100%  
(設問内容)  
①『児童生徒は意欲的に学習に参加している』  
②『意欲的な学習に向けての教材・教具の工夫がなされていたか』  
\*アンケートは4段階  
3…「よい(そう思う)」  
4…「たいへんよい(大いにそう思う)」

### 2. 地域・大学及び関係機関との連携

(達成指標)

- 実地研修参加者への評価アンケートで3以上が80%  
(設問内容)  
『専門性を高める上で有意義な研修であったか』  
\*アンケートは4段階  
3…「よい(そう思う)」  
4…「たいへんよい(大いにそう思う)」
- 教員・対象者・学校評議員への評価アンケートで3以上が80%以上  
(設問内容)  
『研究や授業実践の成果が地域に発信されているか』  
\*アンケートは4段階  
3…「よい(そう思う)」  
4…「たいへんよい(大いにそう思う)」

## 本年度の重点的取組

○年間指導計画及び個別の指導計画の見直し

○授業構想シートの活用

### 【県教委との連携】

○特別支援教育担当教員実地研修の円滑な実施

### 【県教委との連携】

○新学習指導要領に対応した授業

### 【大学との連携】

○教育実習の円滑な実施

### 【地域との連携】

○地域人材による体験活動と地域への奉仕活動

## 本年度の重点的指標

○新学習指導要領を反映させた授業の実践  
(一人1ポスター発表)

○有効な教材・教具のホームページへの掲載  
(学部ごと学期に1事例)

○実地研修参加者への指導案作成援助(担当者8名)

○新学習指導要領に則った指導の例示(公開研究会)

○大学との目的・内容の共有(実習前)  
○新学習指導要領を反映した指導案の提示と焦点化(年度末)

【地域との連携】  
○発達段階に応じた体験活動の実施(各学部1回以上)

【地域との連携】  
○学校周辺、地域の公共施設清掃(中・高等部1回以上)